

★指定管理施設の活用について
①指定管理料と町自ら行っていた運営費は。

全体で52施設あり、指定管理料は42施設の合計3億8,508万円です。

町が自ら運営していた施設は1件で、鏡野地区体育施設(文化スポーツセンター外5施設)で、20年度決算で町の運営費3,795万円、平成29年4月の指定管理料は3,000万円です。

②公募を行っても複数の応募がないため、指定管理者養成研修を行う必要があるのでは。

情報公開を充実させ、できるだけ多くの応募に努めますが、研修の予定はありません。

★計画について①町内各地域の観光振興の方向性は。

観光を観光分野としての1つとして捉える事無く、健康に重点をおいた、農業・林業・商工などの産業分野などを含んだ一体的分野と捉え事業展開を図り、着地型・滞留型の観光を展開しています。

町の各地域には、それぞれの農林水産業、自然、特産品、伝統文化などがあります。

行政ばかりでなく、民間の事業者等と協力しながら、その様々な資源を活かし、健康に重点を置き、各地域の温泉・食べ物・自然・文化など体験するため、町へ訪れてもらいたいと考えます。

各地域の皆さんからの新たな

提案があれば、検討したいと考えます。

②近隣市町村に比べて定住化促進や新規事業が少ないように感じるが、実績の検証を。

総合計画の施策分類の中で事業のみを対象とすると、平成28年度は24事業を実施し、事業費は5,687万円を支出しました。

主な事業は「鏡野町新卒者等ふるさと就職奨励金事業」200万円、「人と地域をつなぐ鏡野町案内事業」1,285万円、「田舎暮らし体験事業」118万円、「高校生等通学助成事業費」373万円、「お試し住宅整備事業」974万円「空家改修補助金」207万円などです。

本計画は、平成28年度からの計画で、平成28年度実績の振り返りの中で、計画の成果を判断するのは難しいですが、例えば、移住定住の相談者数は、平成26年度に30件から、平成28年度では125件まで伸びています。移住者数は、平成27年度に8世帯14人から、平成28年度は23世帯37人と増加しています。空き家の売買契約等の成立件数は、平成27年度に1件から、平成28年度は7件と件数を伸ばしています。お試し住宅は1棟を整備しました。

全体的な振り返りは、鏡野町行政評価外部評価委員会が検証後、庁内の施策評価会議を行い、その評価結果をもとに経営会議で翌年度の経営方針を決定し、平成30年度の施策に繋がります。

★人事院勧告に基づく職員給与改定だが、近隣町村と比較してどの水準か。

国家公務員の給与水準を100として市町村職員の給与水準を表す数値としてラスパイルズ指数があり、鏡野町は94.2で県下12町村の中で8番目です。

★公共交通について①町運営のトロリンバス、福祉バス、町営バスの運営目的の違いは。

平成14年の道路運送法をきっかけに、赤字路線は民間が次々と撤退し、移動に支障が生じたため、各自自治体がコミュニティバスや福祉バスでバス事業に参入し現在に至っています。

運行形態はさまざまでも運営する目的は同じです。

②町内において同じ条件で利用できることが必要と思うが。

町村合併以降、各地域で行われてきたバスの運行形態も、統一させたいとの思いで検討を重ねています。

同条件というより、現在の法律も踏まえ充実した公共交通機関の確立に努力します。

★育児休業中の保育園利用について。

育児休業中の保育園の継続利用が必要な時は、保育園に上の子がいる場合、認定こども園では幼稚園部は朝8時半から昼の1時半まで、保育園は3歳から5歳までは朝8時から夕方4時までの

8時間預かりの選択ができます。2歳児・1歳児は既に入園している児童が保育の継続利用が必要と認められる場合は利用できます。

育児休業中の継続利用のニーズが高いことは承知していますが、2歳児未満の継続利用が増加すると他の保育の必要性が高い児童が入園できない場合もあり、一時預かり制度や時間外保育の利用を願います。

★鏡野町地域情報通信施設整備運営事業について①現在の利用世帯数と当初計画の比較を。

加入率は平成29年10月末現在で、告知放送は4,823件の94%です。

有線テレビ放送は3,727件で150%です。

インターネットの接続は2,434件で121%です。

②緊急時に告知放送とテレビ放送はリアルタイムで放送するの。

告知放送はしていますが、テレビは現状では放送を行える体制ではありません。

③リアルタイムの放送番組の取り組みはしないのか。

現時点では鏡野町大納涼祭と水紋まつりを生中継する計画です。

④録画放送や天気予報の24時間放送は無駄ではないか。

深夜帯の放送を休止した場合、リモコンのdボタンを操作して

も情報が閲覧できなくなるため必要です。

⑤録画放送のタイトルを目新しいものに変える工夫を。

番組のテロップやロゴに画像を挿入したり、鮮やかな色を使用するなど、視聴者の印象に残るような工夫をしています。

⑥有線テレビの番組審議会ではどんな意見があるのか。

「はたらく町内の星」、「かがみの情報局」どちらの番組も地域に密着した内容で好評価です。

視聴率を算出するアンケートの方法、かがみの健康づくり体操の放送時間の短縮等を検討すべき、との意見もありました。

⑦文化祭の時のアンケート集計結果は。

36人からの回答で、「有線テレビの自主番組を見たいですか」の間では、「毎日見ている・毎日ではないが見ている」の回答が78%、「音声告知を設置している」が町外者の回答を含み83%、設置者に「音声告知器の定時放送を聞いたことがありますか」の間では、「聞いている・必ずではないが聞いている」と回答した人が78%、「おしんを見たいですか」の間では、「見ている」との回答が28%、「その他有線テレビで取り上げてもらいたい内容は」の間では、「スポーツ番組」、「地域の放送」などの回答です。